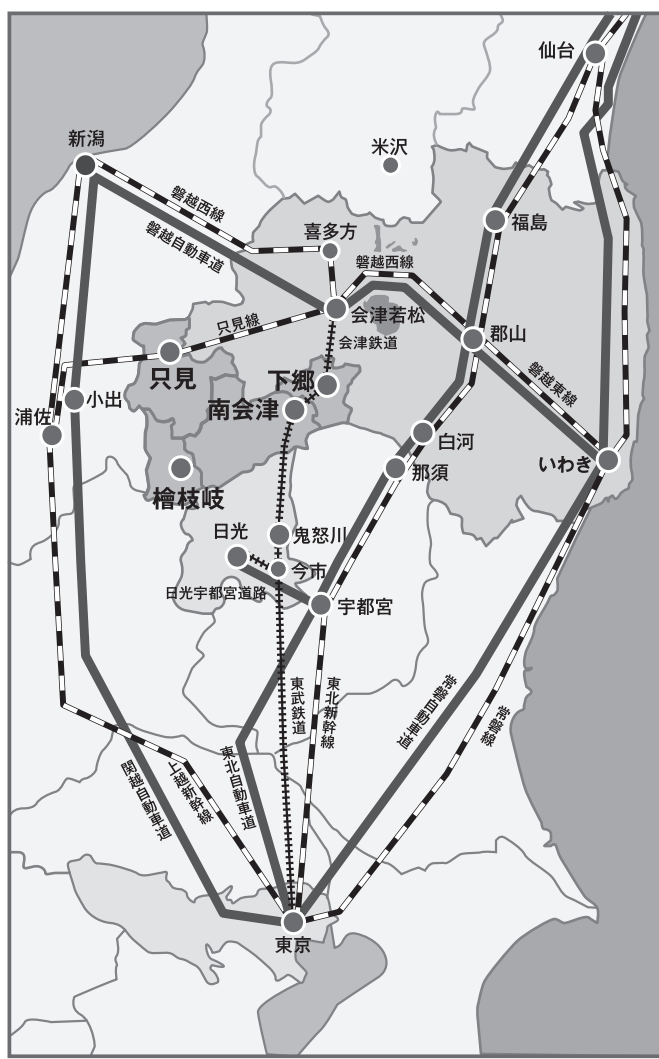


「おいでよ!南会津。」体験型の教育旅行



福島県の南会津郡は、西は新潟県、南は栃木県と群馬県に接する南会津町、下郷町、只見町、檜枝岐村の4町村の総称。その4町村は、県や観光関係団体とともに南会津郡観光推進協議会を立ち上げて積極的に体験型の修学旅行を誘致している。

体験の軸は、ガイドにこうした自然環境に育む自然環境学習。南会津、下郷、只見、檜枝岐の4町村の総称。その4町村は、県や観光関係団体とともに南会津郡観光推進協議会を立ち上げて積極的に体験型の修学旅行を誘致している。

尾瀬などで自然環境学習
農家民泊や豊富な体験メニューも

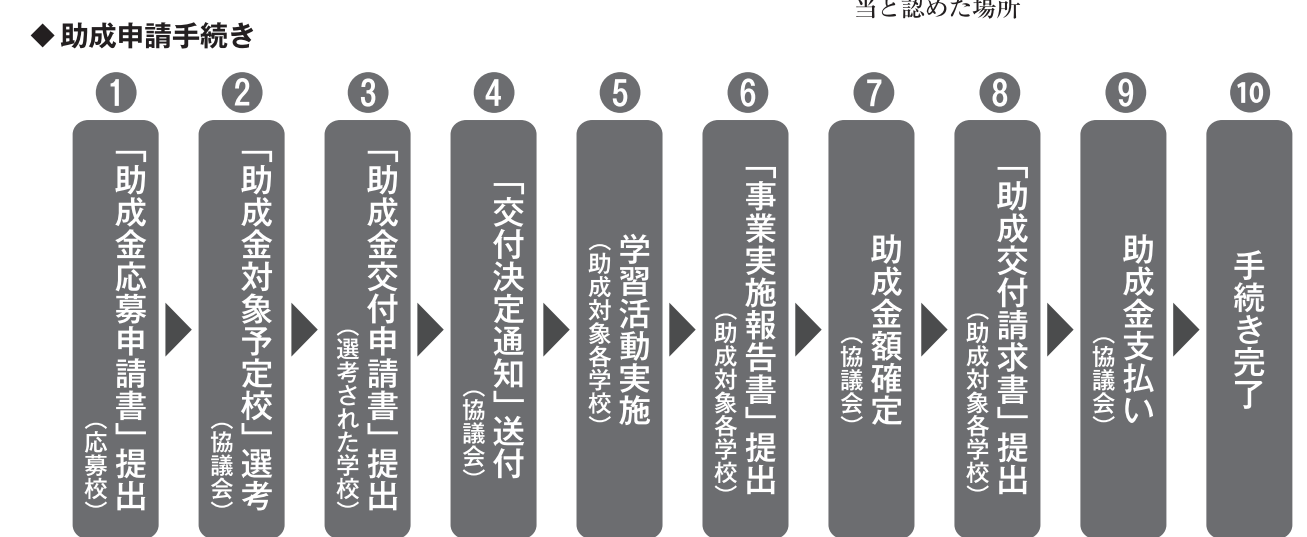
尾瀬など自然環境学習。農家民泊や豊富な体験メニューも。南会津郡観光推進協議会事務局・南会津町観光課より提供。

「おいでよ!南会津。」自然環境学びの首都づくり事業

目的 福島県南会津地域の自然環境や人と自然の共生の歴史について全国の児童生徒が学習、体験することを通じ、当地域が豊かな自然を有することを児童生徒はもとより学校や保護者にも広く認識してもらうことで、教育旅行の回復や風評の払拭とともに自然環境学習の拠点となることを目指す。

- ◆助成の対象 全国の小・中・高等学校および特別支援学校の児童、生徒、引率者
- ◆助成対象期間 4月上旬～11月下旬
- ◆助成の要件 次の事項を全て満たす必要がある。
 - ① 学校の教育課程に位置づけられた活動であること。(部活の合宿や、スポーツでの活動は対象外)
 - ② 南会津郡内の宿泊施設(ロッジ、農家民泊含む)で1泊以上宿泊する行程であること。(福島県内の学校は、日帰りの行程も可)
 - ③ 実施計画に、原則として南会津地域の学習フィールドでの自然環境学習が含まれていること。
 - ④ 自然環境学習の中に、自然教育ガイド団体に登録されたガイドによる学習プラン(自然解説など)が組み込まれていること。
- ◆助成の内容 (金額はいずれも税込み)
 - ◆交通費 バス代………1台あたり最大 140,000円
電車代………1人あたり最大 3,500円(原簿バス代との併用は不可)
駐車代………1台あたり最大 2,000円
シャトルバス代……1人あたり最大 520円(小学生)最大 1,040円(中学生および引率者)
 - ◆宿泊費 (原則、震災後に初めて当地域を訪れる学校が対象) 児童・生徒………1人あたり最大 5,000円(1泊分のみ対象) *引率者分は対象外
 - ◆ガイド料 ガイド………1人あたり最大 20,000円(2泊以上連続で依頼する場合、2日分として10,000円加算)
 - ◆環境学習活動費 児童・生徒・引率者1人あたり最大 2,000円
 - ◆環境学習活動について 自然環境学習のほかに行う、郡内で自然や環境に親しむ活動
例 自然体験: 魚つかみどり、ラフティング、ジップライン
食農体験: 郷土料理作り、農村生活、酪農、間伐
工芸体験: 木工、藍染め、わら細工
文化体験: 歌舞伎化粧、歴史散策
その他: 入館有料施設での学習活動など、協議会が適当と認めた場所

◆自然環境学習フィールド
南会津町: 駒止温泉、前沢曲家集落、御蔵入の里、田代山・帝釈山(尾瀬国立公園内)
只見町: 志みの森、癒しの森、要害山、只見町プラザセンター
下郷町: 観音沼森林公園、中山風穴、大内宿
檜枝岐村: 尾瀬国立公園(ミニ尾瀬公園含む)



申請に関するお問い合わせ
みなみやま観光(株) ☎ 0120-915-221

調査研究のねらい

調査研究のねらい。修学旅行は、特別活動について自覚を深め、自らが主体的に活動することをめざす。調査研究のねらいは、修学旅行の現状から考え、知識技能を生活の中でいかにか活用できるか、修学旅行の果たす役割は大きいものがある。

「感性を研ぎとらえ、修学旅行というテーマの実現に向けて、今年度は昨年度に引き続き修学旅行と関係について調査研究をすすめていく。調査の3点について調査した。生徒の興味関心の高い

中学校の修学旅行の実施状況

全国修学旅行研究協会(岩瀬正司理事長)は、関東、東海、近畿の公立中学校を対象に、学びの集大成を図る修学旅行をテーマに26年度研究調査を実施した。継続調査として実施状況を把握するとともに、テーマに沿って修学旅行と学習の関係を捉えた。概要を紹介する。

実施時期	関東	東海	近畿	合計	割合%
4月	35	30	141	206	7.0
5月	508	401	521	1,430	48.7
6月	470	295	224	989	33.7
7月	80	5	0	85	2.9
8月	1	0	0	1	0.0
9月	36	12	13	61	2.1
10月	2	1	21	24	0.8
11月	0	1	2	3	0.1
12月	17	0	1	18	0.6
1月	13	0	1	14	0.5
2月	45	0	33	78	2.7
3月	1	0	3	4	0.1
記入無し	15	6	4	25	0.9

生徒自ら行動を立案

生徒自ら行動を立案。修学旅行は学びの集大成。調査研究のねらいは、修学旅行の現状から考え、知識技能を生活の中でいかにか活用できるか、修学旅行の果たす役割は大きいものがある。

「感性を研ぎとらえ、修学旅行というテーマの実現に向けて、今年度は昨年度に引き続き修学旅行と関係について調査研究をすすめていく。調査の3点について調査した。生徒の興味関心の高い

学校に助成金

学校に助成金。福島県は、「おいでよ!南会津。」自然環境学びの首都づくり事業を推進している。これは、教育旅行で南会津地域を訪れ自然環境学習を行う小・中・高校に助成金を支給するもの。4月上旬～11月下旬にかけて実施される活動が対象となり、児童生徒の宿泊料金やバス代金などの一部が助成される(詳しくは別表を参照)。



稲植への体験 / ガイドと尾瀬を歩く

調査研究のねらい

調査研究のねらい。修学旅行は、特別活動について自覚を深め、自らが主体的に活動することをめざす。調査研究のねらいは、修学旅行の現状から考え、知識技能を生活の中でいかにか活用できるか、修学旅行の果たす役割は大きいものがある。

「感性を研ぎとらえ、修学旅行というテーマの実現に向けて、今年度は昨年度に引き続き修学旅行と関係について調査研究をすすめていく。調査の3点について調査した。生徒の興味関心の高い

修学旅行のねらいで重視したもの(校、複数回答)

	関東	東海	近畿	合計	割合%
知識の習得	1,030	257	706	1,993	79.0
集団宿泊訓練	403	73	381	857	34.0
公民館関係づくり	761	156	459	1,376	54.5
人間関係づくり	836	211	673	1,720	68.1
人問関係づくり	211	56	127	394	15.6
学習の深化	483	203	480	1,166	46.2
協働性・主体性の育成	1,071	269	655	1,995	79.0
自己課題追求	127	47	56	230	9.1
自己の記入	16	30	82	128	5.1
自己の記入	4	27	27	31	1.2
合計	4,942	1,302	3,646	9,890	

調査研究のねらい

調査研究のねらい。修学旅行は、特別活動について自覚を深め、自らが主体的に活動することをめざす。調査研究のねらいは、修学旅行の現状から考え、知識技能を生活の中でいかにか活用できるか、修学旅行の果たす役割は大きいものがある。

「感性を研ぎとらえ、修学旅行というテーマの実現に向けて、今年度は昨年度に引き続き修学旅行と関係について調査研究をすすめていく。調査の3点について調査した。生徒の興味関心の高い